

1 審査対象事項	研究計画 研究成果の出版・発表 審査が必要と認められる研究等
2 研究課題	胃がん検診における診療放射線技師の読影力と がん発見率の関連性に関する研究
3 研究者名	大阪がん予防検診センター 放射線技師室 矢竹秀稔
4 研究協力者名	大阪がん予防検診センター 所長 黒田知純 大阪がん予防検診センター 副所長 山崎秀男 大阪がん予防検診センター 放射線技師室 技師長 久保次男
5 研究の概要	<p>診療放射線技師(以下、技師)の読影力は胃がん検診において撮影技術を向上させるためにも非常に重要であると考えられるが、その技師の読影力に関する研究はほとんどない。そのため、技師の読影力の必要性に関する認識は一般的に低く、読影力は技師によって大きな格差があるのが現状である。</p> <p>本研究では医師の読影判定をゴールドスタンダードとし、医師の読影判定に対する各技師の相対的な読影力とその技師が撮影した対象者におけるがんの発見率の関連性を調べる。技師の読影力ががんの発見率に影響を及ぼすことがあきらかになれば、技師の読影力向上のための教育の必要性を説いていくことによって、技師全体の読影力を向上させ、胃がん検診のがん発見率を向上させることができると考えている。</p>